

保護者の皆様へのお願い

- ・欠席・遅刻はコドモンで必ずお知らせください。
欠席の連絡をいただけることで食材の無駄な廃棄を減らすことができます。 **離乳食・食物アレルギーによる除去食の依頼をされている方は 8 時まで、普通食の方は9時までにコドモンに連絡を入れて下さい。** 時間を過ぎた場合は電話連絡をおねがいします。
- ・3点セット・ランチョンマット・マグ・コップ・水筒・各袋は必ず毎日洗浄・洗濯をして、きれいなものをお持ちください。
分解できるものは、分解して洗浄をおこなってください!! (しつこい汚れには、塩素系の漂白をお勧めします)
- ・**ご家庭で激しい下痢・嘔吐の症状が出たときはコドモンで必ずお知らせください**
飛沫感染などが考えられる場合には、食器を使い捨てのものに変更します。
- ・箱舟保育園の給食は「大量調理施設衛生管理マニュアル」に基づいて提供しております。
その中で「調理後の食品は、調理終了後から2時間以内の喫食」とあります。通常より遅く登園すると2時間以上経過してしまう時が出てきてしまいます。通院や家庭の事情などで登園時間が11時を過ぎて登園される場合は、昼食を済ませて登園されるか、各自で昼食(市販のパン等可)を持参して登園されますよう、ご協力をお願いいたします。(食中毒予防のため)
- ・**パン業者を探しています。** アレルギー対応がされていて、前日変更が可能。使用日当日朝9時までに園に配達していただける業者をご存じでしたら、ぜひとも教えてくださいますよう、お願いいたします。
- ・ふしぐみはクッキングが始まります。ぜひご家庭でお手伝いの際には、エプロン・三角巾を装着し、自分で着脱が行えるようにしてください!

お弁当について

- ・お弁当箱の蓋・本体・布ナプキンなど、すべてのものに一つずつに必ず名前をご記入ください。
- ・お弁当にミニゼリーを入れる場合は、ミニゼリーはカップから出しタッパーに移しお持ちください。カップのまま入っていた場合は、そのままお持ち帰りいただきます。(誤嚥防止のため)
- ・えだまめ(さや付)・ミニトマト(プチトマト)など、ある程度の硬さがあり、滑りやすい果物や野菜は子どもの気道を塞ぐ大きさであるため、危険性があるとのことですので、お弁当には入れないでください。(どうしても入れる場合は1/4以下にカットして入れるようにして下さい。) 万が一、入っていた場合は、そのままお持ち帰りいただきます。
- ・お弁当は普段ご家庭で食べられている物・量・形態を入れるようにしてください。
- ・乳児(つぼみ〜ばら)はお弁当に「ピック」を使用するのは止めてください。(安全面の配慮です)
- ・**キャラクターをモチーフにしたお弁当は普通のお弁当より、細かく細工され色鮮やかさが増える分、加熱がされていなかったり、菌の繁殖も増えリスクが高まります。ですから、お勧め致しません。**

ご家庭でもうす味に!

2025年の「日本人の食事の食事摂取基準」では、今までよりさらに塩の摂取基準が下がりました。給食でも更なる減塩が求められております。ただ、保育園での給食だけをうす味にしまうと、給食の味がうすくて美味しくない。と、子どもたちが思ってしまうかもしれません。日常的に「ふりかけ」を常用しているご家庭は白米で食事を食べられるように、練習して下さい。**ふりかけは特別な時の「お助けマン」で!ぜひぜひ、ご家庭でもうす味にしてください。**

目標量 2025年		
	男	女
1~2歳	3g未満	2.5g未満
3~5歳	3.5g未満	3.5g未満
2020年		
	男	女
1~2歳	3g未満	3.5g未満
3~5歳	4g未満	4.5g未満

箱舟保育園食育目標 「神様の恵みに感謝して 皆と今のこの食事を楽しめる子」

入園・進級おめでとうございます!

新しい環境での生活が始まりました。今までとは違う保育室で違う先生や新しいお友だちに、子どもたちは不安や緊張でいっぱい毎日だと思います。特に新しく入園したお友だちには、初めての給食もスタートします。給食には、好きなものだけでなく、食べ慣れていないものや苦手なものも出てきます。子ども一人ひとりの「食べる力」を育てていくのに、保育園の給食は重要な役割を担っています。

***乳幼児の食事**

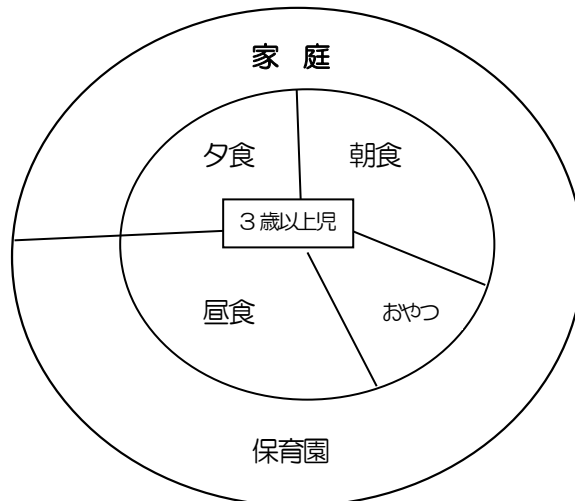
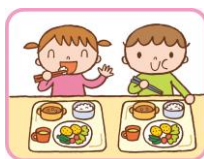
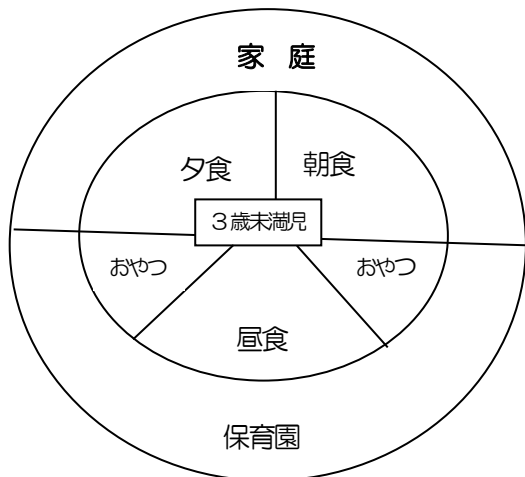
おやつは食事の一部...子どもたちは成長のために多くの栄養素が必要ですが、大人と比べて胃が小さく、消化機能も発達途中です。そのため3回の食事だけでなくおやつも大切な「食事」と考えます。

生活のリズムを整える...給食とおやつ、そして何より朝と夕の家庭での食事は、子どもたちが元気に過ごすための基本であり、1日の生活リズムを整える重要なポイントになります。それが保育園生活をみんなで楽しく過ごしていくことにつながります。

給食により育まれるもの...保育園では、お友だちと楽しく食事を通して、成長・健康づくりに必要な栄養素をとるだけでなく、いろいろな食品の味・食感を体験し、望ましい食習慣を身につけていきたいと考えております。

***保育園での給食と栄養量の目安**

保育園での食事では、1日に必要な栄養量のうち、3歳未満児ではおよそ50%、3歳以上児ではおよそ45%が摂取できることを目安にしています。



元気に遊ぶためにも、朝ごはんは必ず食べて登園してください!!